

# こいた 小坂まきばの里通信 Vol 14

～カッコウの仲間の声を聞き比べよう～

小坂まきばの里へようこそ。小坂まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小坂集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

## ■キャンプ場周辺で初夏の植物を探索しよう！



ノアザミ



ヘビイチゴ



サワフタギ



ツリバナ



ギンリョウソウ



オトコ  
ヨウゾメ



コバノ  
ガマズミ



ヤブデマリ



オオデマリ



ジシバリ



アヤマ



ヤマフジ



レンゲツツジ



ホオノキ

## ■里山の自然観察 ～カッコウの仲間の声を聞き比べよう～

5月半ばを過ぎると、木々の若葉も出そろってひと雨ごとに緑が濃くなっていきます。キャンプ場の周辺の林からは初夏を告げるカッコウの仲間の声が聞かれるようになります。一足早く鳴き始めるのは「ポポポ、ポポン、ポポン」と筒をたたくような声で鳴くツツドリ、少し遅れて日本でも海外でも鳴き声そのまま名前になっているカッコウ(英名は Cuckoo)、鳴き声が「特許許可局」「テッペンカケタカ」と聞こえるホトギスが鳴き始めます。カッコウの仲間はいずれも「托卵」といって、ほかの鳥の巣に卵を産んで巣の持ち主に自分の雛を育てさせるという習性があります。托卵先は種類ごとに違って、ツツドリはセンダイムシクイ、カッコウはノビタキやホオジロ等、ホトギスはウグイスに托卵するのだそう。どの鳥も林の中で鳴くので姿を見つけるのは難しいのですが、特徴的な鳴き声はすぐに判別できます。夏が近づくにつれてにぎやかになっていくカッコウの仲間たちの声を聞き比べてみましょう。